家族のような温もりで支える介護
「ありがとう」が溢れる場所を目指して



Company Data

合同会社OHANA／訪問介護ステーションMahalo
〒271-0096
千葉県松戸市下矢切22-4
https://ohana-matsudo-kaigo.com

代表社員
佐藤 加奈

祖母を介護した経験から、介護職に興味を持つ。資格を取得し、デイサービス事業所にて10年以上研鑽を積む。2025年3月に（同）OHANAを設立。同年6月、訪問介護ステーションMahaloをオープンした。「OHANA」はハワイの言葉で“家族”、「Mahalo」は“ありがとう”という意味。

宍戸　まずは、佐藤代表が介護業界に進まれた経緯を教えてください。

佐藤　専業主婦の頃、祖母の介護をしたことを機に介護職に興味を持つようになりました。その後、10年以上にわたってデイサービスで経験を積んだんです。やがて勤めていたデイサービス施設が閉鎖することになりまして、「このままだと利用者さんが困ってしまう。自分がやるしかない」と考え、当社を設立しました。ただ、実績のない状態でのスタートでしたので、まずは訪問介護から始めることにしたんです。

宍戸　なるほど、利用者さんのためとはいえ、思い切った決断ですよね。介護業界というと、「大変」「きつい」といったイメージを持たれる方も多いと思います。佐藤代表が思い描く理想の介護とは、どのようなものですか？



佐藤　私は、そのマイナスなイメージを変えていきたいと考えています。介護は本来、とてもやりがいのある仕事ですし、もっと前向きに捉えられる業界であるべきだと思うんです。ですから、私自身がロールモデルとなって、働き方の幅を広げていきたい。例えば、職員のネイルやヘアカラーも、業務に支障がなければ問題ないと考えています。

宍戸　おしゃれを楽しみながら働ける環境があれば、若い方たちも興味を持ってくれそうです。

佐藤　実際に当社には、私の息子を含めて若手スタッフが3名在籍しています。新しい感性や価値観を持った若い世代が加わったことで、職場の雰囲気もより活気づいていますし、私自身も刺激を受けています。介護業界全体が活性化していくためにも、こうした流れはとても大切だと感じています。

宍戸　スタッフさんと接するうえで、心がけていることは何ですか？

佐藤　当社の社名である「OHANA」は、ハワイの言葉で“家族”という意味なんです。その名の通り、スタッフにも家族のように接することを大切にしています。私自身、7人の子どもを育ててきた母親でもあるので、若い人と関わること自体が楽しいんです。実際に「お母さんみたい」と言ってもらえることも多くて（笑）。

宍戸　スタッフさんとの絆が感じられますね。アットホームな環境で和気あいあいとお仕事されている姿が想像できますよ。今後の展望はいかがでしょうか？

佐藤　まずは送迎事業に取り組んでいきたいと考えています。現在、介護タクシーは料金が高く、利用をためらう方も多いので、もっと気軽に外出できる環境を整えていきたいです。そして、将来的にはデイサービスの展開も視野に入れています。前職時代に十分に支えきれなかった利用者さんがいたからこそ、今度は自分の手でしっかりと支えられる場所をつくっていきたいですね。

Guest Comment



宍戸 開（俳優）

明るく生き生きとお話しされる佐藤代表の姿を見て、介護は人の気持ちに寄り添い、その方の人生を支える温かいお仕事なのだと実感しました。若い世代が前向きに働ける環境づくりにも積極的に取り組まれている姿勢も素敵です。ぜひ今のスタンスを大切にしながら、この思いを多くの方へ広げていってくださいね!